

NEWSLETTER

February.2013 No. (32)
JACR ニュースレター

1 「地域がん登録へのメッセージ」	7 登録室紹介 東京都
2 広域がん登録のもたらすもの	8 第71回日本公衆衛生学会展示ブース出展と自由集会の開催報告/関連学会一覧
3 九州・沖縄ブロックメーリングリストの運用	9 事務局だより
4 疫学調査集団への地域がん登録データの活用	10 NCC地域がん登録室便り
5 IACR2012に参加して	11 冊子紹介
5 県間移送に関するアンケート実施報告	12 賛助会員一覧/編集後記
6 第22回学術集会のご案内	

『地域がん登録へのメッセージ』

勢井 啓介

NPO法人AWAがん対策募金理事長 ガンフレンド代表



僕の住む徳島県においても、今後このがん登録の活用で患者はもちろんのこと総ての県民に恩恵が享受できていくのが期待しています。がん登録によるデータがあったからこそ予防・早期発見・治療等において良かったと思えるものにして上げていくことは十分可能だと思います。

さてNPO法人AWAがん対策募金は患者さんの経済的なこと・情報支援など多くの問題に対して今できることをやろうということで設立しました。

現在行っている事業のひとつで、がん検診率向上プロジェクトがあります。広島の学園祭で行っていたことを真似たのが始まりです。ただ学園祭だけではこのすばらしいプロジェクトが広く浸透しないと思い昨年大学・高専・高校での出前講座+メッセージカードの作成を行うようにしました。

徳島県も応援してくれるようになり、今年は小・中・高校まで広がり既に20数校でこの出前講座+メッセージカードの作成を行っております。



▲出前講座の様子①

▼出前講座の様子②



がん診療連携拠点病院である(徳島大学病院・徳島県立中央病院・徳島赤十字病院)をはじめ地域の総合病院また個人病院に至るまでたくさんの医療関係者・教育関係者・行政(県・市町村)・企業・メディア・患者の協力のもとにできるようになりました。



▲メッセージカードの作成

がん登録からの診断情報のなかに発見経緯等の情報がありますが、がん検診率が高い都道府県の場合がん検診・健康診断・人間ドックからがんを発見した率の高いことも分かります。がん検診を評価する無作為化比較対照試験(RCT)などありますが、初期の段階でがんを見つけ適切な治療をするというのが、僕は基本かと思えます。

またがん登録からの来院経路をみますと僕自身もそうでしたが殆どの患者さんが、他施設からの紹介であることが分かります。紹介者がもつ病院情報が正しく、そして病状に応じた適切な紹介があれば患者としては大変助かります。

初めて癌に罹患したことが分かった時のショックは大きくどうしたら良いのかその時点では紹介者に頼るしかないからです。

国立がん研究センターがん対策情報センターにある病院情報が患者にとって更に見やすくより良いものになり、また紹介者による適切な病院紹介ができるようになれば患者となっても安心して治療を受けることができると思っております。

地域がん登録を患者目線で活用・公開することで、がん対策が更に進んでいくと僕は信じております。